



➡ 1月16日(水) 国際文化フォーラム 中野敦氏 講演会

1月16日(水)、本校大会議室において、平成30年度韓国姉妹校交流海外派遣候補生を対象に、第1回の事前指導が行われました。

講師の先生は、昨年御講演をいただいた国際文化フォーラムの中野敦氏です。今回は、韓国に留学経験のある大学生2名もボランティアで参加してくださいました。

講演のタイトルは「交流のための言葉を考える」です。

「交流」することを目的とした際の「ことば」とはいったいどういうものなのかという、一見シンプルなようですが実は非常に深いテーマで講演が行われました。「ことばを知っている」ということは、単に「その言語を知っている」ということではなく、相手の文化や社会を理解した上でないと適切なコミュニケーションを取ることはできない、ということです。

特にこのグローバル時代では SNS 等が発達しており、互いに「相手が知ってくれているだろう」と想定することが多くなるという状況があります。相手の文化や社会状況を十分に知らないまま、コミュニケーションだけを図ろうとすれば、誤解や摩擦が起きかねないわけです。

そこでワークショップでは、韓国留学の経験のある大学生の方々から、実際韓国にいる間、必要だと感じた「ことば」、つまり韓国の学生たちとよりよい交流をするために、文化や社会状況を理解した上での「ことば」とは何か、についてお話いただきました。

また、韓国の人々のコミュニケーションの方法の違いでは、韓国では積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度があるそうです。実際に、ミチュホル高校での授業でも生徒たちは非常に積極的に発言をします。こちらが相手を慮って意見や考えを表さずにいると、逆にどうしていいか戸惑ってしまうこともあるようです。しっかりと自身を表現しようとする気持ちが必要になってくるようです。

相手の文化や社会状況を考えてことばを使う、というのは当然他の言語にもあてはまることです。ことばの規則や文法だけを学ぶ、ということではなく、さまざまなことについて横断的に学ぶことがことばを学ぶということになるのでしょう。普段の学習にもつながるとも充実した内容の講演となりました。

(研修参加者の声)

- ・ 留学経験のある方のお話を伺うのは初めてだったのでとても良い勉強になりました。外国人に限らず、対話するときは積極的に話しかけ、自分をさらけ出していくことが大切なのだと思います。これからは事前研修などを通して、ミチュホルの生徒さんとの交流に向けて様々なことを学んでいきたいです。
- ・ ワークショップでは、二人の留學生の意見を聞き、改めて自分とは違う言語の国の人と対話することの難しさ、また楽しさを感じ、研修が楽しみになりました。これからの事前学習でも、いろいろな人の話を聞き、韓国への理解を深めていきたいと思います。
- ・ 相手に合わせすぎないで自分のこともアピールすることが本当の「交流」をするためには必要だとわかりました。自分を知ってもらうために怖気づかない姿勢でいるように頑張ります。
- ・ 今回の海外派遣を日本について深く学びなおす機会とし、私達高校生一人一人ができることをグローバルな視点で考え、学びたい。
- ・ 派遣生徒としての自覚を持ち、韓国での交流で身をもって感じたことをみなさんにしっかりと伝えていけるように努力します。
- ・ 韓国姉妹校交流に参加することになりました。澁谷です。現地での学びが将来的に重要な意味を持つことを自覚し、“自分から”行動することを目標に頑張ります。よろしくお願ひします。

- ずっと行きたいと思っていた韓国姉妹校交流へ行けるようになり、うれしい気持ちと少しの緊張が入り混じった感情がある。日本の高校生代表という気持ちを忘れずに韓国のことを学び、日本をよく知り、自分を見つめて交流へ準備していきたい。また、準備の中では様々な講演や話し合いをする機会があるため韓国姉妹校交流だけではなく他のことで生かせるように吸収していく。
- 今日は様々な刺激を受け、派遣生として気持ちを新たにたくさんのことを吸収していこう、と思うことができました。石川さんと佐野さんのお話で、特に印象に残っているのは、交流する際には自分を積極的に表現していくほうが良いという考え方です。ホームステイを受け入れた際には、いかに相手に楽しんでもらうのか、ということにとらわれすぎて聞くことに徹し、気疲れしてしまったこともありました。異国との交流でも自分の好きな話題を積極的に話す、など自分の心地よさを大切にしまってよいものなのだ、と目から鱗の発見でした。戸田先生のお話では、自らの課題だと常々感じていた教養力のなさを改めて突き付けられました。このホームステイを終えて、どんな自分になっていたいのか、しっかり考え三月末までより高みを目指して自分と向き合っていきたいです。

➡ 2月7日(木) 国際機関で要職を歴任 一橋大学教授 嘉治 美佐子氏 講演会 【再掲】

欧州連合日本政府代表部、国際連合日本政府代表部、国連難民高等弁務官（UNHCR）など、世界の第一線で日本の代表として活躍されている嘉治美佐子氏が本校に来校し、講演をしてくださることになりました。大変光栄で、貴重な機会となります。奮って参加してください。参加希望者は、LL 準備室前の票に記名してください。定員となり次第締め切ります。

また、今回は嘉治氏への質問事項を募集します。実際に聞いてみたいことなどを、LL 準備室前の箱に提出してください。

嘉治 美佐子氏 講演会

日時 平成 31 年 2 月 7 日 (木) 15 時 30 分から 17 時まで
場所 本校大会議室
対象 全校生徒
申し込み LL 準備室前の表に記名 (1月25日締切)
質問用紙 LL 準備室前の箱に提出 (1月31日締切)

締切迫る!

※ 嘉治 美佐子 Profile



東京大学経済学部卒、オックスフォード大学修士。
在英日本大使館、欧州連合日本政府代表部、在ベトナム日本大使館、国際連合日本政府代表部、国連難民高等弁務官（UNHCR）、総理官邸に勤務。外務省人権人道課長、儀典総括官、中東アフリカ局審議官などを歴任。
2012年～14年東京大学教養学部教授、2014～16年在ジュネーブ国際機関日本政府代表部次席大使、2017年～ 一橋大学教授。
著書に『国際社会で働く 国連の現場からみえる世界』 NTT 出版 2014年がある。